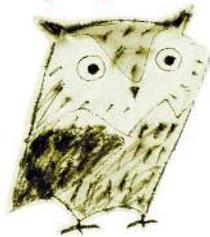


# 赤 黒 金 銀 緑 青



## 前田正博の色絵

aka・kuro・kin・gin・midori・ao—in praise of colors  
Maeda Masahiro Exhibition



2009年6月27日[土]～9月23日[水]

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より、私ども菊池寛実記念 智美術館の活動に多大なるご理解とご協力を賜り、誠に有難うございます。

当館では、本年度6月27日より、下記の通り「赤 黒 金 銀 緑 青 —前田正博の色絵」を開催いたします。前田正博(1948～)は色絵の作家です。東京藝術大学にて藤本能道、田村耕一、浅野陽各氏に師事した後、1970年代より現在まで一貫して、磁器の素地に色彩豊かな絵付を施した器を制作し、独自の境地を広げてきました。

前田氏の作品は古風な色絵磁器とは一線を画す、グラフィカルで洒脱な意匠を纏っています。カンヴァスに絵を描くように、ふくろうやサボテンなどの軽妙な模様で、白磁の器を覆い尽くします。洋絵付の材料を取り入れ、何度も焼成を重ねることにより生み出される、上から下の色が透けて見えるような独特な風合いも作家の真骨頂です。近年は、そこに、奥深さや重厚感が加わり、新たな方向への展開が感じられます。展覧会では、新作と旧作を合わせたおよそ100点余※の作品により、前田正博の色絵磁器の世界をご紹介します。(※期間中、展示替えを行う予定です。)

つきましては展覧会の概略をご案内申し上げますので、本展をひとりでも多くの皆さまにお知らせいただき、周知にご協力を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

敬具

- 展覧会名 「赤 黒 金 銀 緑 青 —前田正博の色絵」
- 会 場 菊池寛実記念 智美術館 東京都港区虎ノ門4-1-35 ☎03-5733-5131
- 会 期 2009年6月27日[土]～2009年9月23日[水・祝]※期間中、展示替えを予定。  
休館日：毎週月曜日(但し7月20日、9月21日は開館)、7月21日
- 開館時間 午前11時～午後6時(最終入館は午後5時30分まで)
- 主 催 財団法人菊池美術財団
- 後 援 日本経済新聞社
- 協 賛 京葉ガス株式会社
- 観 覧 料 一般1,000円 大学生800円 小中高生500円  
(※障害者手帳をご提示の方、およびその介護者1名は無料となります。)
- 展 示 作 品 陶磁器作品など約60点
- 関 連 行 事 会期中、学芸員によるギャラリートーク、西洋館見学会、作家による対談などを開催。本リリース3頁をご覧ください。

## 前田正博の色絵



1.



2.



3.



4.

### 一色

高火度で焼成した磁器や陶器の表面に、より低い温度で色を焼きつける色絵の技術は、日本でも17世紀以降、古九谷、柿右衛門様式などの磁器や、京焼に代表される色絵陶器など、様々なスタイルを発展させましたが、前田正博の作品は、こうした伝統的な色絵とは全く異なる表情を持っています。複雑な色の重なり、マットで手に馴染む独特の質感—その秘密は、使われる「色」そのものにあります。前田氏が使う洋絵具は、幕末頃より導入された新しい素材で、色数が豊富で薄くのぼし色同士を重ねることができるなど、和絵具にはない性質を持っています。前田氏はこうした素材の可能性を探りながら、独自の色絵磁器を発展させてきました。布目等でテクスチャーを持たせた素地に、赤、黒、金銀彩や緑、青、紫等の多彩な色を乗せ、何度も焼成を繰り返す念な仕事は、硬質な磁器に豊かな表情をもたらし、独特な温かみを持つ色絵の世界を生み出してきました。

### 一模様

鳥、サボテン、ヤシの実、ザクロ、月、山…前田作品では、様々な模様が器の全面を覆い尽くし、楽しげに踊っています。鳥や植物など自然をモチーフとしながらも、説明的描写から自由に飛躍する直観的なデザインは、親しみやすさと花鳥風月の象徴性が同居した、不思議な空気をまとっています。

「ただ形に合わせてその時々で展開しているだけ」、そう作者が語る文様は、まるで即興の音楽のように大胆に、繊細に、器に色彩と形のリズムを刻みます。

### 一形

色絵に覆われた作品は、色彩の豊かさ故に、しばしばそれが磁器で出来ていることを忘れさせます。けれど、加飾の下に隠された、器そのものがみせる堅固な造形は、磁器ならではのもの。成形の難しい磁土を素材に、あえてうつわというかたちにこだわり続ける姿勢が、作者のやきものに対する思いを物語ります。最新作では、色と形の双方に、洗練された重厚さが加わり、これまでにない存在感をたたえた作風が展開されています。

## 作家略歴

1948 京都府久美浜町に生まれる。  
 1973 日本陶芸展入選。  
 1975 東京芸術大学大学院工芸科陶芸専攻修了。  
 日本伝統工芸展入選。  
 1983 「Japanese Ceramics Today - Masterworks from the Kikuchi Collection」に出品(スミソニアン自然史博物館、ワシントン/V&A美術館、ロンドン)。  
 1986 二人展(ワークスギャラリー: ニューヨーク)  
 1988 第35回日本伝統工芸展にて、日本工芸会奨励賞受賞。  
 1991 「第3回 次代を拓く・新しい茶の造形展」(日本橋三越)。  
 1992 日本の陶芸「今」百選展(三越エトワール、パリ/日本橋三越)。  
 1994 「手の冒険展」(宮城県美術館)。  
 1996 「現代日本陶磁の秀作・アジア巡回展」(日本国際交流基金)。

1996 「現代日本陶磁の秀作・アジア巡回展」(日本国際交流基金)。  
 1997 日本伝統工芸展新作展で鑑審査委員(2000、2001)。  
 1998 第38回伝統工芸新作展にて奨励賞受賞。  
 2000 「前田正博展」(大心苑の小さな美術館、茨城県高萩市)。  
 2002 日本伝統工芸展で鑑審査委員。  
 「神奈川の陶芸・うつわの美展」(神奈川県民ホールギャラリー)。  
 現代陶芸の100年I「日本陶芸の展開」展(岐阜県現代陶芸美術館)。  
 2003 Japanese Ceramics Today, Part 1/Part 2(菊池寛実記念 智美術館、東京)。  
 2004 二人展(ギャラリーgen: ニューヨーク)。  
 2005 第1回菊池ビエンナーレ展にて、優秀賞受賞(菊池寛実記念 智美術館)。  
 東京・六本木に工房を移転、六本木磁器倶楽部開催。  
 2006 「現代陶芸の粋展」(茨城県陶芸美術館)。  
 2007 「前田正博色絵磁器展」(アサヒビール大山崎山荘美術館)。  
 2008 「第2回智美術館大賞・現代の茶陶展」に出品、優秀賞を受賞(菊池寛実記念 智美術館)。

## 展覧会関連行事のご案内

**対談「前田正博の歩んだ道」**：8月1日(土) 午後3時より

前田正博氏 × 林屋晴三 (菊池寛実記念 智美術館館長)

**親子で楽しむ展覧会**：8月8日、22日の各土曜日、午後2時より

夏休みに合わせ、お子さまと一緒に楽しみいただけるガイドツアーを行います。

**学芸員によるギャラリートーク**：各土曜日、午後2時より

■7月4日、11日、18日

■8月29日

■9月5日、19日

**西洋館見学会**：2009年7月25日／9月12日の各土曜日、午後2時より

(予約制・定員各回20名様)

当館敷地内の西洋館(登録有形文化財)は、大正時代に建てられた後、保存・修復を重ねながらも建具等の室内装飾が丁寧に保全され、今日まで使用されている希有な建物です。通常非公開の内部を、展覧会の期間中に特別公開いたします。

西洋館のご案内(建築家 篠田義男氏)、美術館観覧料(学芸員の解説付き)、レストランでのお茶・ケーキのサービスを含め、お一人様8,000円です。

予約・お問い合わせ (TEL03-5733-5131)

■本展覧会について広報媒体へ掲載、取材をいただく場合、本リリースで紹介されている作品画像をデータでお貸し出しいたします。申込書のご希望の図版に☑を記し、用紙を返信のうえ、お問い合わせください。ご紹介いただく記事、番組内容については、情報確認のため校正の段階で事務局までお知らせください。お貸し出す画像データは本展覧会終了をもって使用期限とさせていただきます。作品の画像を1点以上ご掲載の上、本展をご紹介くださる媒体に対し、本展ご招待券を読者プレゼント用に提供いたします。申込書、所定の欄に招待券希望の旨を明記してください。

**お問い合わせ先**

菊池寛実記念 智美術館 (担当：島崎、高田)

住所：〒105-0001 東京都港区虎ノ門 4-1-35 財団法人 菊池美術財団

TEL.03 (5733) 5131 FAX.03 (5733) 5132 <http://www.musee-tomo.or.jp/>

**掲載・画像貸出申込書**

**返信先 FAX: 03-5733-5132**

●貴社基本情報

会社名:	
担当部署:	担当者名:
住所:	
電話:	ファックス:
E-MAIL:	

●媒体情報

新聞 雑誌	媒体名:	
	発行日:	発売日:
TV ラジオ	媒体名:	
	放送日:	放送時間:
ネット	URL:	

●画像貸出リスト ※キャプションにはタイトルと制作年を入れてください。サイズ単位はcmです。

希望作品に☑	作品キャプション
<input type="checkbox"/>	① 色絵金銀彩輪花鉢 1987年 (高19.0 径41.0)
<input type="checkbox"/>	② 左:色絵金銀彩面取鉢 2005年 (高24.5 径25.5) 右:色絵金銀彩面取鉢 2006年 (高24.5 径24.5)
<input type="checkbox"/>	③ 色絵面取水指 2008年 (高20.0 径14.5)
<input type="checkbox"/>	④ 色茶盃 2009年 (高8.6 径11.8)

●読者プレゼント用チケット希望: 5組10名様 10組20名様